

IV その他

1. 技術の普及及び指導

1. 1 水産加工技術普及指導事業

担当者 加工利用部 成田 正直・武田 忠明・宮崎 亜希子・秋野 雅樹・飯田 訓之

目的と経過

北海道の水産加工業は、産地における漁獲物の安定供給に大きな役割を果たしてきたが、漁業生産の減少や短期間に変動する消費動向などにより、厳しい状況におかれている。

特にオホーツク海地域にあっては、ホタテガイを中心とした地場資源の安定及び安全供給体制の整備や高付加価値化、されには加工技術の高度化が重要になってきている。これらの課題に対処するため、水産加工技術普及指導を実施する。

(1) 移動加工相談室

講習会、懇談会を通じて水産加工業の技術水準の向上並びに地場産業の振興発展を図るため、今年度は、コンブの加工に関する意見交換・相談室を平成21年10月27日、利尻町で開催した。

(2) 巡回技術指導

随時、企業の要望に応じて個々の企業を巡回し、当面する技術的問題点に関する指導、助言を以下の地域で行った。

礼文町、稚内市、猿払村、枝幸町、興部町、紋別市、網走市、根室市

(3) 公設水産加工研究施設連絡会議

北海道内の水産加工関係の公設研究施設との関係を密接にし、地域産業の発展に寄与するため、平成21年7月14日に釧路水試にて、水産加工利用部門、公設水産加工研究機関及び関係自治体(7機関)、道立食品加工研究センター、道立工業技術センターの出席を得て、連絡会議を開催した。